ＴＡＫＡＭＡＴＳＵプロジェクト 〜Make your dream take wings〜

目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。
※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。
（学力があってこその進学、人間力があってこその学力）

↓・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示＆調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
↓・職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
↓・生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得なども）

＊このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

			キャリアプラン（キャリア・進路意識高揚）						サクセスプラン（日々の学習）			支援	
			全校	学年	概要・目的（生徒視点）	教師の活動	総探コマ		教科学習・考査・校外模試	目的（生徒視点）	目的（教員視点）	上位層	中下位層
２年次	４月	上旬		新年度ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	２年生としてどのように生活し学習していくか決意。ｷｬﾘｱ学習の見通し確認。	進路講話（進路指導主事） 新年度心得、学習、探究、生活、生徒会等（正副担任団）		キャリア意識に根ざした学習モチベーション 知識・思考力に根ざしたキャリア学習・探究学習	4/3 実力ﾃｽﾄ	２年スタート時点の学習状況・内容定着の確認		講座別授業の円滑なスタートを支援。	
		中旬		進路希望調査	１年次の活動を踏まえ自己の将来像に向けて考える機会とする。	生徒の進路意識を把握し指導に反映。 ＰＴＡ総会資料とする。	2	学習サイクル再確立＆主体的かつ協働的に	4/5 ｽﾀﾃﾞｨｻﾌﾟﾘ国数英			「中だるみ」傾向をふまえた声かけ。	
		下旬	強歩大会		主体性・協働性の育成。							GWの有効活用を促す。	
	５月	上旬										表層的な知識・理解に留まらない、思考判断表現・学びに向かう姿勢の醸成を促す。	生活習慣・学習習慣の確立を支援。家庭連絡日に向けて課題整理。
		中旬	南信総体				2						
		下旬	PTA総会 クラスマッチ	学年PTA		進路学習指導についての学校のスタンス、家庭の意識のあり方を共有	1						
	６月	上旬	県総体 芸術鑑賞		教養醸成。 主体性・協働性の育成。		1	知識・理解に根ざした傾聴力・思考力の向上	家庭学習重点週間	学習習慣維持状況・内容定着の確認	理科・社会も含めて「予習・授業・復習」のサイクルを維持・定着させることの重要性を意識させる。		
				探究活動	課題研究ガイダンス、テーマ決定： 自分の興味・関心を深堀する 調べるべきことを明確化 具体的な調べ方を明確化	探究活動１年間の流れを示し、生徒が自ら課題を設定することを支援	1		第1回考査				
		中旬	北信越総体	信大説明会	改めて地元国立大学の講義・説明を聞くことで学部学科のイメージを広げ、具体的な志望校選定の参考とする。	進路室常駐教員中心に企画。担任を通じて生徒に周知し、希望を取りまとめる。	1	主体的・協働的活動による集団としての力の向上					
				教育実習生に学ぶ	具体的な成功・失敗体験を聞くことで進路意識を深め、学習に還元する。	１・２学年で連携し、年度ごとの状況に合わせて柔軟に計画。							
		下旬		小論文①	課題文型。 テーマに沿って、現代社会の問題も織り込みながら自己の考えを論理的に記述できるような力を育成。	学習係を中心に教材選定、指導方法などを工夫。リライトも含めて計画。	1	「書く」経験による					
			高松祭		主体性・協働性の育成。			目標を具体化 学習の					
	７月	上旬		夢ナビライブ ［オンライン開催］	事前準備：講義動画を視聴する等して興味のある分野を絞る。参加ガイドをもとに当日の行動計画を作成する。 当日：生中継の講義や質疑、研究室訪問を通じて、進学の目的や目標を明確にする。 後日：活動報告をする。	事前指導で学びたい学問の発見や大学研究を支援する。 登録状況や当日の参加状況を把握 活動報告書による成果の確認		将来の自分をｲﾒｰｼﾞ学習意欲向上	7/6 ﾍﾞﾈｯｾ総合学力テスト（進研模試）	志望の具体的記入。 １年次内容定着と２年次スタート状況を検証。			
										学習習慣維持状況・内容定着の確認	５教科全てに取り組めているか、行事・班活動の中心となりながらも学習習慣が維持できてきているか、確認。		
		中旬		科目選択 説明会ﾌﾟﾚ	３年次科目選択の理解の導入。	秋以降の科目選択を見越して、必要な情報を早めにおろし、生徒の主体的判断を促す。	2			「志望校」を意識付け	学習定着状況の検証 「中だるみ」の検証 夏休み〜秋指導の計画	夏休みを活かす指導。	家庭連絡日を活用。適宜補習。
		下旬											
	８月	上旬		夏の各種体験 ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ 就業体験 看護体験 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　等	計画書、報告書を提出。 自分の進路に合わせた個別のｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽや職場体験で視野を広げる	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう支援。 医療系希望者は２年次までに行くよう促す。		視野を広げる					
		中旬										学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。	
				小論文②	課題文型。 テーマに沿って、現代社会の問題も織り込みながら自己の考えを論理的に記述できるような力を育成。	学習係を中心に教材選定、指導方法などを工夫。リライトも含めて計画。		「書く」経験による知識欲の向上					
		下旬					2		8/23 実力ﾃｽﾄ（夏休課題）	夏休み中に取り組んだ復習状況の確認		国数英　各教科で弱点分野を把握し、必要に応じて層別に対応する	
	９月	上旬					1	将来像への道筋を知ることで学習意欲向上					
		中旬		科目選択 説明会	3年次科目選択の知識・理解。 希望進路および大学入試の流れの理解をふまえながら、建設的な選択へ。	科目選択と、それに連動する進路活動の見通しについて説明。 苦手ﾍﾞｰｽの消極的選択にならないよう、前向きな検討を指導。	1		第2回考査	前期学習を振り返る	前期成績 成果・課題の洗い出し、計画調整、指導への反映。		考査にむけた学習習慣の再確立
		下旬	9/26	社会人講話	大学模擬講義の受講により、大学での学びを体験し、学習意欲向上のきっかけとする。		1	より深い興味関心を持つことでのモチベーション向上					
	１０月	上旬	ＣＭ		主体性・協働性の育成。				10/5 駿台全国模試	よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	考査・模試の「復習・振り返り」の重要性を改めて確認。	
		中旬	教育懇談会	学年PTA 講演		資金計画、奨学金について講演	2	学習サイクル再確立・補強 主体的かつ協働的に					
		下旬	面談週間		前期成績　取り組みの振り返り 来年度選択科目と受験科目を固める 志望系統を固める	前期通知表 成果・課題を家庭と共有 来年度科目選択の確認	1						
	１１月	上旬		修学旅行事前学習	平和学習、探究学習	修学旅行が学習内容を深め、広げる機会となるよう支援する。	2		11/2 ﾍﾞﾈｯｾ総合学力テスト（進研模試）	５教科受験スタート。受験勉強スタートへつなげる	高校の教養としても、５教科全ての学習が充実するよう、科目を捨てないよう、取り組みへの努力を促す	志望系統・進学先を具体的に話題に。2年後から逆算した学習生活の計画。家庭連絡日活用。	三者面談や講話等をきっかけに意識の変革と学習サイクル確立を促す
		中旬		進路講演	受験生への意識変革	今後1年間の見通しを示す 学習意欲が低下しがちな時期を支える	1						
		下旬							第3回考査				
	１２月	上旬		修学旅行	平和学習、社会理解			知識を持つことで研修を充実化					
		中旬	家庭連絡日			受験情報共有 科目選択の生徒・家庭の意向最終確認。	1	現時点での力を把握し 目標を定め					
		下旬			修学旅行振り返り								
	１月	上旬	慰霊式	探究活動	探究まとめ： 持っている情報と示したい情報の明確化 整理分析方法の明確化 分析と解釈	引用しておしまいにならないよう、複数の情報を目的にあわせて比較、関連付け、構造化させる			1/11 ﾍﾞﾈｯｾ総合学力テスト（進研模試）	１・２年次の範囲の学力測定	１年後の入試本番を意識させ、志望大学合格へ向けた自身の位置・課題をつかみ受験生としてスタートをきらせる。入試本番と最も相関関係の強い模試とも言われるもの。	模試の達成目標を意識・計画させる。振り返りまでのサイクル確立を支援。 学びなおし分野の洗い出し	
		中旬	大学入学共通ﾃｽﾄ	探究活動	探究発表準備： 課題に対して言えること（主張）を作る 発表形式を決め、資料を作る	主張を支える根拠、根拠に偏りがないか等、客観的な評価指標を提示	2	具体的な探求活動を通して課題発見・解決力を醸成 教科学習に反映					
		下旬		探究発表	形式自由、クラス発表： 主張を正しく相手に伝える 探求の内容、過程について振り返る	声の大きさ、文字の見やすさ等、発表の評価指標を提示	1		1/25 駿台全国模試 全統記述模試				
	２月	上旬					1	学力差を埋めるための計画を立てる	2/8 共通テスト模試（進研ﾏｰｸ）	記述を含むマーク形式に慣れ、既習範囲の定着度を確認する	高２までの内容習得の漏れ・抜けを確認し補充を促す。		
		中旬					1						
		下旬					1	知識・理解に根ざした思考・判断・表現力の向上	第4回考査	後期学習を振り返る			
	３月	上旬	卒業式	小論文③	大学入試小論文における自分の課題を再確認。入試だけでなく一般的記述力という観点でも振り返り。	３年次に向けた課題の確認と指導方策検討。 入試を超えた一般的記述力という観点でも検証。		「表現する」ことで知識欲の向上				０学期の過ごし方と３年次スタート意識づけ	
		中旬	特編授業	探究発表	学年成績　１年間の振り返り 次年度の計画	後期通知表 ３月〜３年次の学習が円滑にスタートできるよう特編授業を計画する。	6						
		下旬											